

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月14日

上場取引所 大

上場会社名 日本出版貿易株式会社
 コード番号 8072 URL <http://www.jptco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員事業管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 庵之下 博文
 (氏名) 岩崎 哲明

TEL 03-3292-3751

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,673	1.7	13	—	14	—	△8	—
24年3月期第1四半期	1,644	1.3	△23	—	△29	—	△63	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △6百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △25百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△1.27	—
24年3月期第1四半期	△9.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	円 銭	
25年3月期第1四半期	5,628	—	787	—	14.0	112.82	—	
24年3月期	6,342	—	793	—	12.5	113.69	—	

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 787百万円 24年3月期 793百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,362	4.9	5	—	△15	—	△15	—	△2.15
通期	8,200	0.9	126	17.8	97	27.6	29	222.2	4.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	7,000,000 株	24年3月期	7,000,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	22,300 株	24年3月期	21,540 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	6,977,709 株	24年3月期1Q	6,978,482 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成25年3月期の連結業績予想は、「平成24年3月期 決算短信」(平成24年5月15日付)において公表した数値より変更してありません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年の東日本大震災で状況を一変させる打撃を被りましたが、復興需要等を背景として景気は緩やかに回復しつつあります。しかしながら欧州政府債務危機を巡る不確実性と為替相場の円高基調、海外景気の下振れ懸念も相俟って、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループは円高メリットを享受出来る洋書事業、メディア事業の輸入部門の売上拡大を図りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は16億7千3百万円（前年同四半期比1.7%増）となりました。利益面では販売管理費の抑制に努め、営業利益は1千3百万円（前年同四半期の営業損失2千3百万円）、経常利益は1千4百万円（前年同四半期の経常損失2千9百万円）となりました。四半期純損失におきましては投資有価証券評価損1千6百万円の計上を行った結果8百万円（前年同四半期の四半期純損失6千3百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントの業績は以下のとおりであります。

(出版物・雑貨輸出事業)

円高基調が定着しているなか、海外大学・研究機関で購読されている年間購読誌は、海外定価上昇で総体としては売上増に繋がりました。しかしながら売上の多くを占める、日本語教材、雑貨などは外国製品を展開する競合他社の攻勢により苦戦を強いられました。

その結果、当部門の売上高は3億6千3百万円（前年同四半期比8.4%減）、営業利益は7百万円（前年同四半期比40.9%減）となりました。

(洋書事業)

福島原子力発電所の影響で外国人居住者、旅行者が減少しており、全国の書店洋書売り場が縮小しているなか、TOEIC熱の高まりで英語関連教材、ペーパーバックなどは堅調に売上を伸ばしております。また弊社が代理店の外国雑誌のNatureやフランスの雑誌やK-POP関連雑誌は販売を増やしております。弊社物流センターは経費削減が功を奏しており、業務の効率化が進んでおります。

その結果、当部門の売上高は3億2千6百万円（前年同四半期比33.6%減）、営業損失は2千6百万円（前年同四半期の営業損失5千9百万円）となりました。

(メディア事業)

輸入音響関連商品は円高の追い風のなか、海外代理店商品の強化に努めました。特にクラシック、ジャズの代理店商品は好調で、ジャズレーベルのシリーズの中には累計で20万枚を超えるヒットとなっているものもあります。また今年生誕100周年を迎えた世界的な指揮者「ショルティ」の全集シリーズなども売上に貢献しております。また雑貨関連の輸入にも力を入れて、欧州から輸入したスマートフォン関連のヘッドフォンは好評を得ております。

その結果、当部門の売上高は8億5千3百万円（前年同四半期比38.4%増）、営業利益は5千5百万円（前年同四半期比69.3%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

日貿ビルの老朽化に伴い、建替え、売却の両面から検討をしておりますが、平行してテナント各社とは退去交渉を行っております。

その結果、当部門の売上高は3千1百万円（前年同四半期比17.9%減）、営業利益は1千1百万円（前年同四半期比34.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ7億1千4百万円減少し、56億2千8百万円となりました。

これは、主に流動資産で大学等への英語教科書の春季販売分の回収により受取手形及び売掛金が6億4千5百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ7億7百万円減少し、48億4千1百万円となりました。

これは、主に流動負債で支払手形及び買掛金が6億4千4百万円減少したことによるものであります。支払手形及び買掛金の減少は受取手形及び売掛金で記載した大学等への英語教科書の仕入代金の支払によるものであります。

純資産は、主に四半期純損失の計上により6百万円減少し7億8千7百万円となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末より1.5ポイント増加し14.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期におきましては、ほぼ計画通りに推移しておりますので平成24年5月15日発表の第2四半期累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,307,813	1,206,452
受取手形及び売掛金	2,144,554	1,499,509
有価証券	11,808	12,873
商品及び製品	820,035	853,198
原材料及び貯蔵品	368	385
繰延税金資産	24,134	23,041
その他	98,404	132,054
貸倒引当金	△8,581	△7,378
流動資産合計	4,398,537	3,720,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	297,862	293,446
土地	1,178,600	1,178,600
リース資産（純額）	21,509	19,991
その他（純額）	10,092	10,784
有形固定資産合計	1,508,065	1,502,823
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	277,553	250,211
長期貸付金	5,832	5,652
繰延税金資産	55,284	55,282
その他	75,473	74,162
貸倒引当金	△36,651	△36,531
投資その他の資産合計	377,492	348,777
固定資産合計	1,944,108	1,908,440
資産合計	6,342,645	5,628,577

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,854,343	1,209,547
短期借入金	2,194,940	2,164,190
リース債務	9,336	9,355
未払法人税等	5,157	7,460
前受金	291,395	271,657
賞与引当金	15,412	3,748
返品調整引当金	39,961	25,776
デリバティブ債務	2,868	1,747
その他	196,912	176,596
流動負債合計	4,610,327	3,870,079
固定負債		
長期借入金	332,195	364,210
リース債務	22,996	20,650
退職給付引当金	155,104	158,709
再評価に係る繰延税金負債	371,604	371,604
その他	57,034	56,073
固定負債合計	938,935	971,248
負債合計	5,549,263	4,841,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	430,000	430,000
資本剰余金	195,789	195,789
利益剰余金	△386,884	△395,753
自己株式	△5,448	△5,485
株主資本合計	233,456	224,550
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△38,049	△47,820
繰延ヘッジ損益	△656	—
土地再評価差額金	671,057	671,057
為替換算調整勘定	△72,425	△60,538
その他の包括利益累計額合計	559,925	562,698
純資産合計	793,382	787,249
負債純資産合計	6,342,645	5,628,577

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	1,644,865	1,673,111
売上原価	1,338,508	1,369,914
売上総利益	306,356	303,197
返品調整引当金戻入額	16,047	26,177
返品調整引当金繰入額	19,098	11,992
差引売上総利益	303,305	317,382
販売費及び一般管理費	327,212	303,794
営業利益又は営業損失(△)	△23,906	13,587
営業外収益		
受取配当金	6,714	4,335
貸倒引当金戻入額	—	1,323
為替差益	—	4,307
その他	478	284
営業外収益合計	7,192	10,251
営業外費用		
支払利息	9,372	9,333
為替差損	2,886	—
有価証券運用損	827	—
その他	161	9
営業外費用合計	13,248	9,343
経常利益又は経常損失(△)	△29,961	14,495
特別利益		
固定資産売却益	246	—
特別利益合計	246	—
特別損失		
投資有価証券評価損	33,351	16,289
その他	—	221
特別損失合計	33,351	16,510
税金等調整前四半期純損失(△)	△63,066	△2,014
法人税等	497	6,854
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△63,564	△8,869
四半期純損失(△)	△63,564	△8,869

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△63,564	△8,869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,773	△9,770
繰延ヘッジ損益	9,449	656
為替換算調整勘定	7,052	11,886
その他の包括利益合計	38,275	2,772
四半期包括利益	△25,288	△6,096
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25,288	△6,096
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	出版物・ 雑貨輸出 事業	洋書事業	メディア 事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上 高	397,028	491,823	616,550	38,205	1,543,608	101,256	1,644,865	—	1,644,865
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	102,840	—	—	—	102,840	424	103,265	△103,265	—
計	499,868	491,823	616,550	38,205	1,646,449	101,681	1,748,130	△103,265	1,644,865
セグメント 利益又は損 失(△)	13,434	△59,413	33,057	18,214	5,291	△6,407	△1,115	△22,791	△23,906

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関係会社の小売を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△22,791千円はセグメント間取引消去△2,533千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△20,257千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社（提出会社）の管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	出版物・ 雑貨輸出 事業	洋書事業	メディア 事業	不動産賃 貸事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上 高	363,522	326,645	853,439	31,368	1,574,976	98,134	1,673,111	—	1,673,111
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	88,230	—	—	—	88,230	332	88,563	△88,563	—
計	451,753	326,645	853,439	31,368	1,663,207	98,467	1,761,674	△88,563	1,673,111
セグメント 利益又は損 失 (△)	7,939	△26,804	55,959	11,949	49,043	△12,858	36,185	△22,598	13,587

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、関係会社の小売を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△22,598千円はセグメント間取引消去△477千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△22,120千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社（提出会社）の管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。